



新工SPH通信

VOL. 4

新潟県立新潟工業高等学校

SPH推進委員会

平成 29 年8月10日

Community cooperation

平成 29 年 7 月 27 日（木）機械工作法の中の溶接法に関する実技講習会を機械科 1 年生 80 名に対して新潟造船株式会社様の協力で実施しました。

「プロフェッショナル溶接実技講習会」では新潟造船の佐藤様よりアーク溶接について実技指導をしていただきました。



- アークの出し方にはじまり、厚板の溶接を実演していただきました。
- 簡単そうに見えましたが、生徒自身でやってみると、とても難しいことがわかりました。



- 溶接の底になる面にセラミックスを当てて溶接する工法を実演していただきました。
- やってみたい生徒も実際に指導してもらいました。
- 講師の佐藤さん曰く、溶接は難しいからやり甲斐があるので、後輩たちにも興味を持ってもらいたいと説明してくださりました。

【スキルアップシートより生徒の感想】

- 今回アーク溶接をした際に、溶接棒が授業で使うものより太いだけでそんなに変わらないと思いましたが、かなり難しかったです。あらためて溶接の難しさがわかりました。
- この一日すごく楽しかったです。
- 火を使うことは少し苦手であったが、今回の実技講習で安全にできたし、やりたいとおもうようになった。講習会でもっと積極的にできればよかった。
- プロの溶接を見てよかった。
- アークの出し方や、鉄を溶かしていく速度などとても勉強になった。
- 少しのことでも興味を持ち、わからないことは質問することが大事ということがわかりました。

【生徒の変容と身についた力】

- 地域に世界を相手にしている企業があることを実感したように感じた。
- 企業内でいろいろな仕事があることに気づいたようだった。
- 質問も積極性が出てきた。
- 学校の勉強との関連性について考えるようになった。